

## 景況感は、製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大

1～3月予想・製造業は悪化に転じ、非製造業は悪化幅縮小

### 目次

		ページ
調査要領		1
1. 概況	-----	2
2. 業況判断	製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大	3
3. 売上	製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大	3
4. 受注	製造業は減少幅縮小、建設業は増加幅縮小	4
5. 経常利益	製造業は減少幅縮小、非製造業は減少幅拡大	4
6. 在庫	製品在庫、商品在庫ともに過剰感増加、原材料在庫は過剰感低下	4
7. 販売価格・仕入価格	販売価格は低下に転じ、仕入価格は上昇幅縮小	5
8. 資金繰り・借入金残高	資金繰りは製造業は悪化、非製造業は横ばい	5
9. 雇用	製造業は過剰感上昇、非製造業は過剰感低下	6
10. 設備投資	製造業、非製造業とも前年比増・補修、改修が主	6
11. 経営上の問題点	製造業では「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」が上位、非製造業では「金利負担の増加」が上位	7
12. 海外戦略について		11

## 調査要領

調査目的	鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため
調査対象	県内企業218社、回答企業82社、回答率37.6%
調査方法	各支店を通じるか、または郵送による記名式回答
調査対象期間	期間平成23年7～9月実績及び平成23年10～12月予想
調査時点	平成23年11月中旬～下旬

## 業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製 造 業	食料品	10	12.2	7	70.0
	繊維・縫製	0	0.0	0	
	木材・木製品	2	2.4	2	100.0
	紙・紙加工品	4	4.9	4	100.0
	窯業・土石	5	6.1	5	100.0
	金属・機械	10	12.2	10	100.0
	電気機械	13	15.9	10	76.9
	印刷・その他	5	6.1	5	100.0
	計	49	59.8	43	87.8
非 製 造 業	建設業	8	9.8	7	87.5
	卸売業	11	13.4	8	72.7
	小売業	7	8.5	1	14.3
	運輸業	3	3.7	2	66.7
	旅館・ホテル	4	4.9	1	25.0
	計	33	40.2	19	57.6
全部門合計		82	100.0	62	75.6

注：中小企業の範囲

- 製造業・建設業・運輸業... 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
- 卸売業..... 資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
- 小売業..... 資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
- サービス業..... 資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

### B S I とは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。B S I がプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

# 1 概況……県内景況感は、製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大

鳥取県企業動向調査によると、平成23年7～9月の「自社業況の総合判断」は、前期(平成23年4～6月)に比べて製造業では食料品で好転し、一般機械で好転幅が拡大し、出版・印刷、窯業・土石などで悪化幅が縮小したため、11.0ポイント上昇。非製造業では建設業で悪化に転じ、卸売業で好転幅が縮小し、小売業、旅館・ホテルで悪化幅が拡大したため2.0ポイント低下した。全産業では7.0と前期(12.0)より5.0ポイント悪化幅が縮小した。また、前回調査時(7月)の予想(9.5)よりも2.5ポイント上昇した。

先行き平成23年10～12月の景況感は、製造業では窯業・土石で好転し、食料品、木材・木製品で好転幅が拡大し、紙・紙加工品で悪化幅が縮小することなどから7.0ポイント上昇し、非製造業では卸売業、運輸業で悪化幅が拡大することなどから4.5ポイント低下し、全産業では4.5と2.5ポイント上昇し、悪化幅が縮小する見込み。

## 1 業種別の景況

製造業の景況感は、前期比11.5ポイント上昇し悪化幅が縮小したが、2四半期連続で悪化となった。(16.0 5.0)

非製造業の景況感は、前期比2.0ポイント低下し悪化幅が拡大し、58四半期連続の悪化となった。(7.0 9.0)

## 2 売上高の景況

売上高のBSIIは、製造業では金属製品で増加幅が拡大し前期比6.0ポイント上昇し、非製造業では小売業、旅館・ホテルで悪化幅が拡大し前期比1.0ポイント低下したことから、全産業では前期比2.5ポイント上昇した。(8.5 6.0)

3 受注高の景況  
受注高のBSIIは、製造業では食料品、金属製品で増加幅が拡大し前期比15.5ポイント上昇し、非製造業では建設業で増加幅が縮小し前期比10.0ポイント低下したことから、全産業では前期比13.5ポイント上昇した。(16.0 2.5)

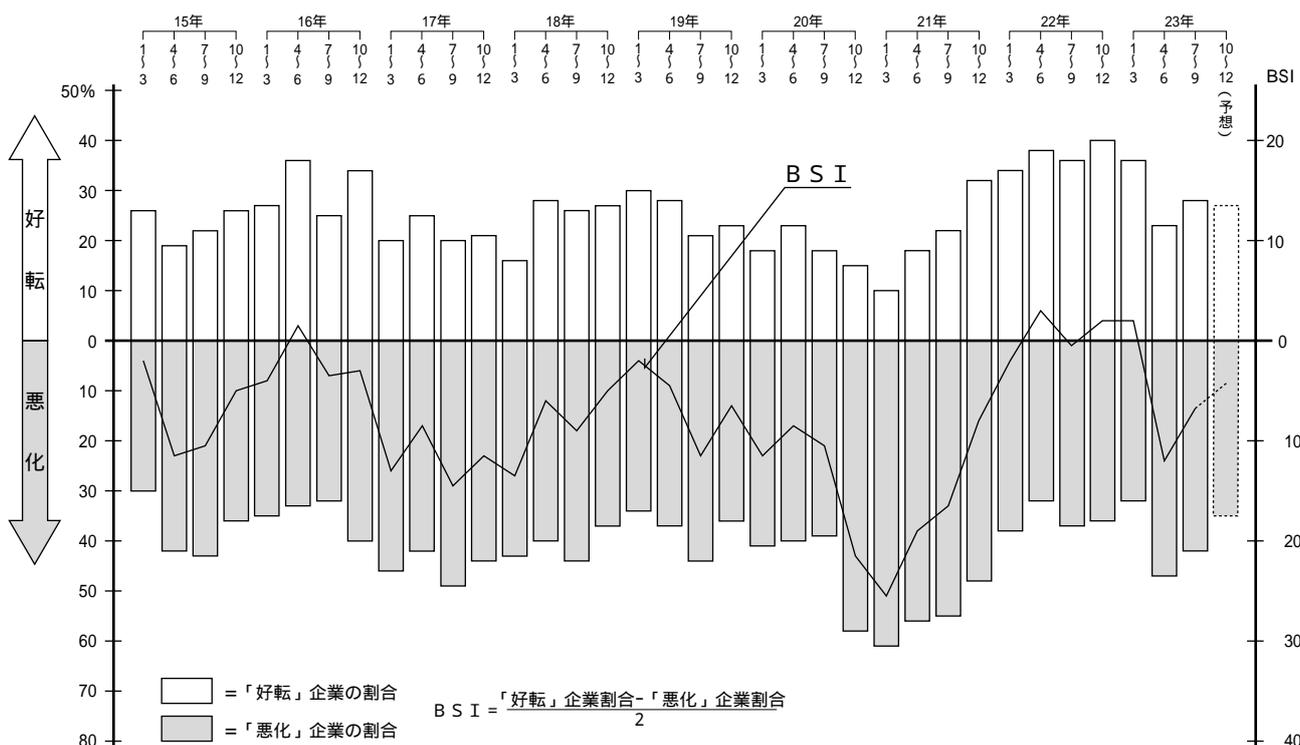
4 経常利益の景況  
経常利益のBSIIは、製造業では食料品で好転し、金属製品で増加幅が拡大し前期比6ポイント上昇し、非製造業では建設業、卸売業で悪化に転じたことから、全産業では前期比2.5ポイント低下した。(12.5 15.0)

5 販売価格、仕入価格の景況  
販売価格のBSIIは、製造業では電気機械で悪化幅が拡大し前期比4ポイント低下し、非製造業では卸売業で好転幅が縮小し、小売業で悪化幅が拡大し11.0ポイント低下し、全産業では前期比7.0ポイント低下した。(2.5 9.5)

仕入価格のBSIIは、製造業では一般機械、金属製品で好転幅が縮小し前期比1.5ポイント低下し、非製造業では建設業、卸売業で好転幅が縮小し13.5ポイント低下し、全産業では前期比6.0ポイント低下した。(17.0 11.0)

6 経営上の問題点  
経営上の問題点(大きいものから2項目選択)についての上位項目(全産業)は、「売上・受注の減少」を選択する企業が全体の63%と最も多く、次いで「先行き見通し難」が34%、「過当競争」が24%、「仕入価格の上昇」が23%、「販売価格の低下」が15%となった。

図 - 1 自社業況の総合判断の推移



## 2 業況判断.....製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大

「自社業況の総合判断」BSI 「(好転の割合 - 悪化の割合) ÷ 2」

23年7～9月: 7.0と23年4～6月( 12.0)よりも5.0ポイント上昇し、前回(7月)調査の先行き予想( 9.5)よりも2.5ポイント上昇し悪化幅が縮小した。

23年10～12月: 4.5と2.5ポイント上昇し悪化幅が縮小する見込み。

24年1～3月: 9.5と5.0ポイント悪化幅が拡大する見込み。

自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて、経営者の判断を示すもの

### 製造業のBSI

23年7～9月: 食料品で好転し、一般機械と金属製品で好転幅が拡大し、出版・印刷、窯業・土石、木材・木製品で悪化幅が縮小し、電気機械などで悪化幅が拡大したが、5.0と23年4～6月( 16.0)よりも11.0ポイント悪化幅が縮小した。

23年10～12月: 窯業・土石で好転し、食料品、木材・木製品で好転幅が拡大し、電気機械で悪化幅が拡大するが、2.0と7.0ポイント上昇し、好転する見込み。

24年1～3月: 窯業・土石や木材・木製品で好転幅が拡大するが、食料品で好転幅が縮小し、紙・紙加工品、金属製品で悪化に転じるため、7.0と9.0ポイント悪化に転じる見込み。

### 非製造業のBSI

23年7～9月: 旅館・ホテル、小売業で悪化幅が拡大し、建設業で悪化に転じたことなどから、9.0と23年4～6月( 7.0)よりも2.0ポイント悪化幅が拡大した。

23年10～12月: 卸売業、運輸業で悪化に転じることなどから、13.5と4.5ポイント悪化幅が拡大する見込み。

24年1～3月: 卸売業で悪化幅が拡大するが、建設業で好転することから、12.0と1.5ポイント悪化幅が縮小する見込み。

図 - 2 業況総合判断 (製造業)

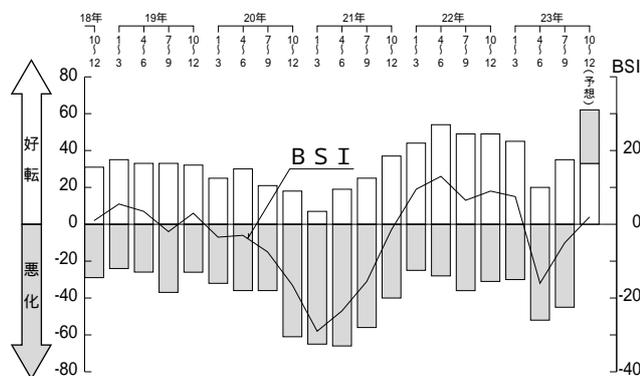
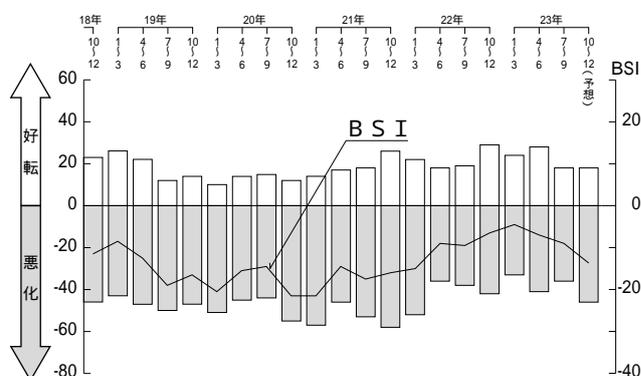


図 - 3 業況総合判断 (非製造業)



## 3 売上.....製造業は悪化幅縮小、非製造業は悪化幅拡大

### 製造業の売上高BSI

23年7～9月: 金属製品で増加幅が拡大し、食料品、一般機械で増加幅が縮小したが、3.5と23年4～6月( 9.5)よりも6.0ポイント悪化幅が縮小した。

23年10～12月: 木材・木製品、一般機械で増加幅が拡大し、窯業・土石で好転することなどから、3.5と7.0増加に転じる見込み

### 非製造業の売上高BSI

23年7～9月: 小売業、旅館・ホテルで悪化幅が拡大したことから、9.0と23年4～6月( 8.5)よりも0.5ポイント悪化幅が拡大した。

23年10～12月: 建設業や卸売業で悪化に転じることなどから、16.0と7.0ポイント悪化幅が増加する見込み。売上高にかかる回答の集計(回答企業の加重平均)

### 全産業(回答49社)

23年7～9月実績: 前年同期比+3.5%

23年10～12月予想: 同+5.0%

### 製造業(27社)

23年7～9月: 食料品、金属製品、一般機械、出版・印刷で増加し、窯業・土石、紙・紙加工品や電気機械で減少したが、同+7.0%となった。

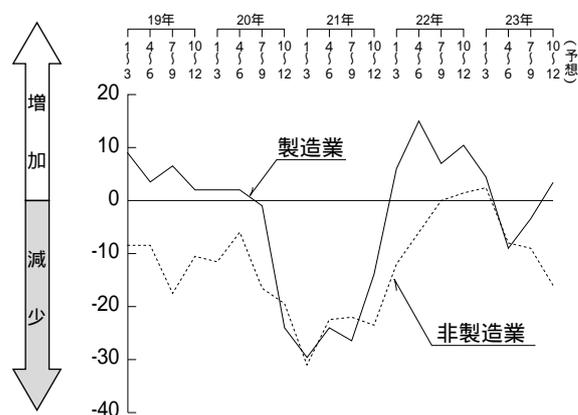
23年10～12月: 食料品、一般機械で増加し、金属製品などが減少するが、同+9.5%の見込み。

### 非製造業(22社)

23年7～9月: 建設業、卸・小売業で減少したことなどから、同 2.0%となった。

23年10～12月: 卸売業で増加するが、旅館・ホテルや建設業で減少することから、同 1.5%の見込み。

図 - 4 売上高のBSI



## 4 受注.....製造業は減少幅縮小、建設業は増加幅縮小

### 製造業の受注高BSI

23年7～9月:食料品で好転し、金属・機械等で上昇幅が増加し、電気機械で減少幅が縮小したが、3.0と23年4～6月(18.5)よりも15.5ポイント減少幅が縮小した。

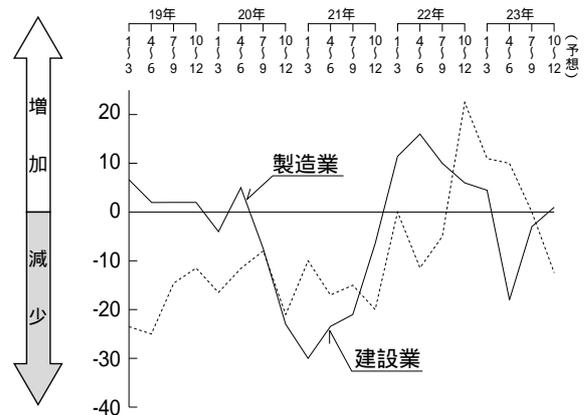
23年10～12月:食料品、木材・木製品、窯業・土石などで上昇することなどから、1.0と4.0ポイント上昇し、好転する見込み。

### 建設業の受注高BSI

23年7～9月:0.0と23年4～6月(+10.0)から10.0ポイント低下し、増加幅が縮小した。

23年10～12月:12.5と12.5ポイント低下し、減少に転じる見込み。

図 - 5 受注額の B S I



## 5 経常利益.....製造業は減少幅縮小、非製造業は減少幅拡大

### 製造業の経常利益BSI

23年7～9月:金属製品で増加幅が拡大し、紙・紙加工品、出版・印刷、窯業・土石で減少幅が縮小し、食料品で好転したことから12.5と23年4～6月(18.0)より5.5ポイント減少幅が縮小した。

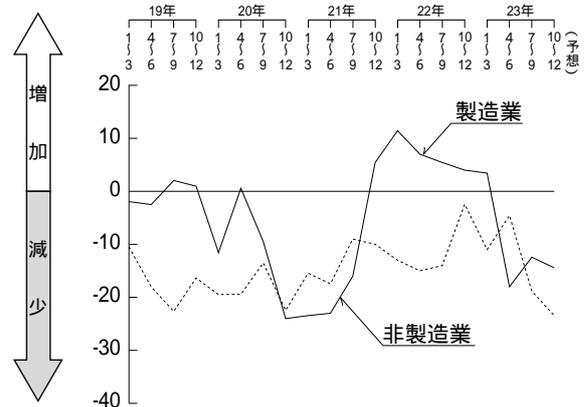
23年10～12月:電気機械で減少幅が拡大し、食料品が減少に転じるなどから、14.5と2.0ポイント減少幅が拡大する見込み。

### 非製造業の経常利益BSI

23年7～9月:運輸業、旅館・ホテルで減少幅が拡大し、建設業や卸売業で減少に転じたことから、19.0と23年4～6月(4.5)よりも14.5ポイント減少幅が拡大した。

23年10～12月:卸売業で減少幅が拡大することから、23.5と4.5ポイント減少幅が拡大する見込み。

図 - 6 経常利益の B S I



## 6 在庫.....製品在庫、原材料在庫ともに過剰感低下、商品在庫は過剰感増加

### 製品在庫BSI「(不足 - 過剰) ÷ 2」

23年7～9月:食料品、窯業・土石、金属製品で不足感が上昇し、木材・木製品、電気機械で過剰感が上昇し、2.0と23年4～6月(6.0)よりも4.0ポイント過剰感が低下した。

23年10～12月:食料品で不足感が減少し、木材・木製品で過剰感が上昇することから、5.0と3.0ポイント過剰感が増加する見込み。

### 商品在庫BSI

23年7～9月:卸売業で過剰感が増加し、小売業で不足感が減少したことから、9.5と23年4～6月(0.0)よりも9.5ポイント過剰感が増加した。

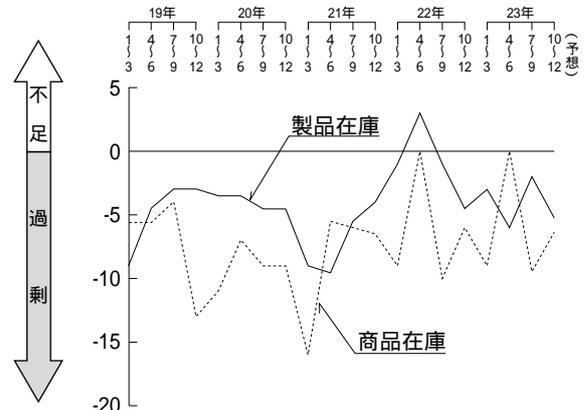
23年10～12月:卸売業で過剰感が低下することから6.5と3.0ポイント過剰感が減少する見込み。

### 製造業の原材料在庫BSI

23年7～9月:食料品で不足感が上昇し、電気機械で過剰感が減少したことなどから、1.0と23年4～6月(2.0)よりも1.0ポイント過剰感が低下した。

23年10～12月:食料品で不足感が低下し、金属製品、電気機械で過剰感が低下するが、木材・木製品で過剰に転じることから、1.0と変化ない見込み。

図 - 7 製品・商品在庫の B S I



## 7 販売価格・仕入価格.....販売価格は低下幅拡大、仕入価格は上昇幅縮小

### 販売価格BSI「(上昇 - 低下)÷2」

23年7～9月: 9.5と23年4～6月( 2.5)よりも7.0ポイント低下幅が拡大した。

23年10～12月: 9.5と変化ない見込み。

### 製造業の販売価格BSI

23年7～9月:木材・木製品、出版・印刷で低下幅が減少し、電気機械で低下幅が拡大したことなどから、11.0と23年4～6月( 7.0)よりも4.0ポイント低下幅が拡大した。

23年10～12月:窯業・土石で上昇に転じ、出版・印刷で低下幅が増加することなどから、10.5と0.5ポイント低下幅が縮小する見込み。

### 非製造業の販売価格BSI

23年7～9月:旅館・ホテルで低下幅が縮小し、卸・小売業で低下幅が拡大したことなどから、6.5と23年4～6月(+4.5)よりも11.0ポイント低下幅が拡大した。

23年10～12月:小売業で低下幅が拡大するため、8.0と1.5ポイント低下幅が拡大する見込み

### 原材料仕入価格BSI「(上昇 - 低下)÷2」

23年7～9月:+11.0と23年4～6月(+17.0)よりも6.0ポイント上昇幅が縮小した。

23年10～12月:+13.0と2.0ポイント上昇幅が拡大する見込み。

### 製造業の原材料仕入価格BSI

23年7～9月:食料品で上昇幅が拡大したが、紙・紙加工品、一般機械などで上昇幅が縮小し、+12.5と23年4～6月(+14.0)よりも1.5ポイント上昇幅が縮小した。

23年10～12月:窯業・土石、出版・印刷、電気機械等で上昇幅が拡大することなどから、+17.5と5.0ポイント上昇幅が拡大する見込み。

### 非製造業の原材料仕入価格BSI

23年7～9月:運輸業を除く全ての業種で上昇幅が縮小したことなどから、+8.0と23年4～6月(+21.5)よりも13.5ポイント上昇幅が縮小した。

23年10～12月:建設業で上昇幅が縮小するため、+6.5と1.5ポイント上昇幅が縮小する見込み。

図 - 8 販売価格のBSI

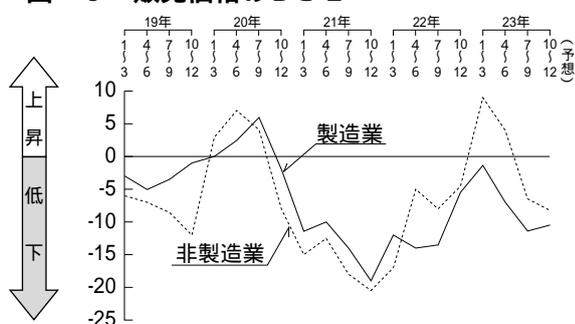
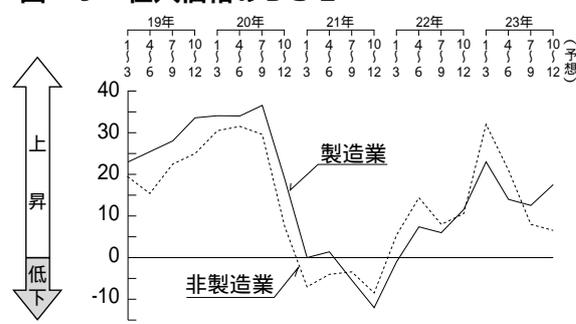


図 - 9 仕入価格のBSI



## 8 資金繰り・借入金残高.....資金繰りで製造業は改善、非製造業は悪化

### 製造業の資金繰りBSI「(楽 - 苦しい)÷2」

23年7～9月:食料品、出版・印刷、金属製品で悪化したが、電気機械、木材・木製品などで改善し、1.0と23年4～6月( 2.0)よりも1.0ポイント改善した。

23年10～12月:木材・木製品、金属製品で悪化したが、電気機械、紙・紙加工品で改善し、1.0と変化ない見込み。

### 非製造業の資金繰りBSI

23年7～9月:小売業、運輸業で改善したものの、卸売業、旅館・ホテルで悪化し、12.0と23年4～6月( 7.0)よりも5.0ポイント悪化した。

23年10～12月:建設業、旅館・ホテルで改善し、9.0と3.0ポイント改善の見込み。

### 製造業の借入金残高BSI「(減少 - 増加)÷2」

23年7～9月:木材・木製品、食料品、電気機械で減少幅が縮小したため、金属製品や一般機械で減少幅が拡大したが、+16.5と23年4～6月(+21.0)よりも4.5ポイント減少幅が縮小した。

23年10～12月:紙・紙加工品、金属製品で減少幅が縮小することなどから、+11.5と5ポイント減少幅が縮小する見込み。

### 非製造業の借入金残高BSI

23年7～9月:運輸業で減少幅が拡大したが、他の業種で減少幅が縮小したことなどから、+6.0と23年4～6月(+16.5)よりも10.5ポイント減少幅が縮小した。

23年10～12月:卸売業で減少幅が拡大し、+8.0と2.0ポイント減少幅が拡大する見込み。

図 - 10 資金繰りのBSI

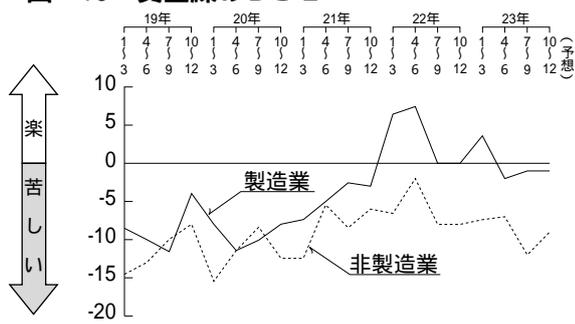
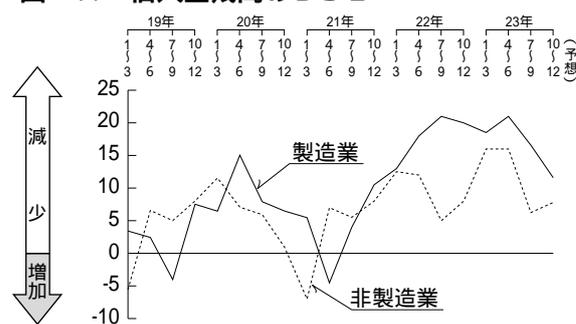


図 - 11 借入金残高のBSI



## 9 雇 用.....製造業は過剰感低下、非製造業は過剰感上昇

製造業の常用雇用者BSI「(過剰 - 不足) ÷ 2」

23年7～9月:木材・木製品で過剰感が上昇し、電気機械、で過剰感が低下し、金属製品で不足に転じたことなどから、+4.0と23年4～6月(+11.0)よりも7.0ポイント過剰感が低下した。

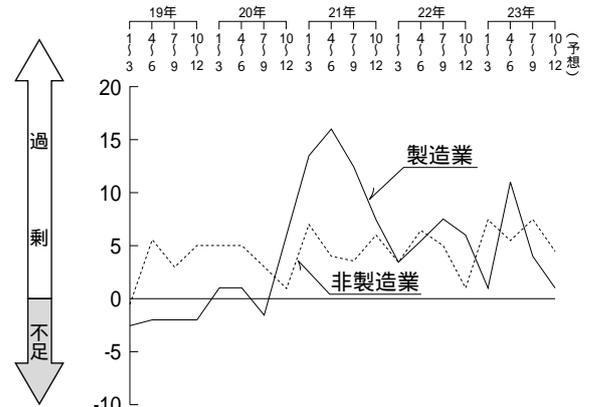
23年10～12月:食料品で不足感が上昇し、木材・木製品で過剰感が低下することなどから、+1.0と3.0ポイント過剰感が低下する見込み。

非製造業の常用雇用者BSI

23年7～9月:卸・小売業で過剰感が上昇し、建設業で過剰感が低下したが、+7.5と23年4～6月(+5.5)よりも2.0ポイント過剰感が上昇した。

23年10～12月:建設業、旅館・ホテルで不足に転じることから、+4.5と3.0ポイント過剰感が低下する見込み。

図 - 12 雇用(常用雇用者)のBSI



## 10 設備投資.....製造業、非製造業とも前年比増・補修・更新が主

23年7～9月:回答企業の42%が設備投資を実施し前年同期実績(33%)よりも9ポイント上昇した。

23年10～12月:回答企業の43%が設備投資を計画し前年同期実績(39%)よりも4ポイント上回った。

業種別設備投資企業割合

( )内は前年同期実績:単位%

	23年4～6月 実績	23年7～9月 実績	23年10～12月 計画
全産業	41 (40)	42 (33)	43 (39)
製造業	46 (51)	48 (43)	56 (53)
非製造業	33 (27)	33 (21)	24 (20)
食料品	67 (58)	40 (56)	60 (57)
繊維・縫製	0 (0)	0 (0)	0 (0)
木材・木製品	33 (0)	0 (0)	0 (50)
紙・紙加工品	67 (50)	50 (33)	50 (50)
窯業・土石	0 (20)	0 (0)	40 (0)
金属・機械	38 (75)	70 (70)	80 (69)
電気機械	67 (57)	58 (50)	58 (73)
印刷・その他	40 (33)	60 (43)	40 (25)
建設業	25 (11)	0 (0)	13 (13)
卸売業	30 (18)	18 (19)	0 (0)
小売業	30 (33)	71 (25)	29 (67)
運輸業	40 (50)	33 (0)	67 (25)
旅館・ホテル	50 (50)	75 (60)	75 (20)

製造業	23年7～9月	実施割合	食料品で低下したが、紙・加工品、電気機械、印刷・その他で上昇したことから、48%と前年同期実績(43%)より5ポイント上回った。
		投資目的	1 補修・更新 28% (前年同期 61%) 2 合理化・省力化 21% (同 39%) 3 事務所・倉庫 5% (同 0%)
非製造業	23年10～12月	計画割合	木材・木製品、電気機械で低下するが、食料品、窯業・土石、金属・機械で上昇することから、56%と前年同期実績(53%)を3ポイント上回る見込み。
		投資目的	1 補修・更新 29% (前年同期 43%) 2 合理化・省力化 18% (同 36%) 3 増産・能力向上 7% (同 18%)
製造業	23年7～9月	実施割合	卸売業で低下したが、小売業、運輸業、旅館・ホテルで上昇したことから、33%と前年同期実績(21%)を12ポイント上回った。
		投資目的	1 補修・更新 42% (前年同期100%) 2 増産・能力向上 15% (同 0%) 3 その他 12% (同 0%)
非製造業	23年10～12月	計画割合	小売業で低下するが、運輸業、旅館・ホテルで上昇することから、24%と前年同期実績(20%)を4ポイント上回る見込み。
		投資目的	1 補修・更新 27% (前年同期 75%) 2 増産・能力向上 4% (同 0%) 3 該当なし

注:投資目的は複数回答、構成比。建設業は製造業に含む。

図 - 13 設備投資実施企業の割合の推移

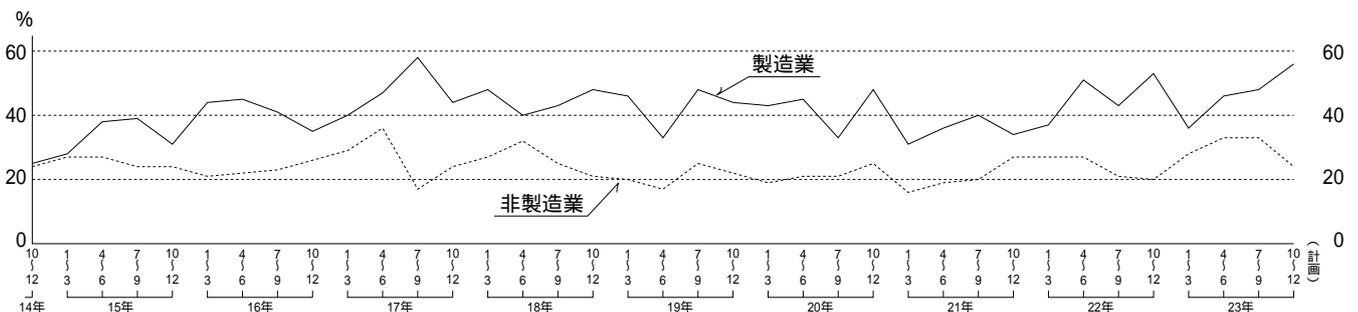
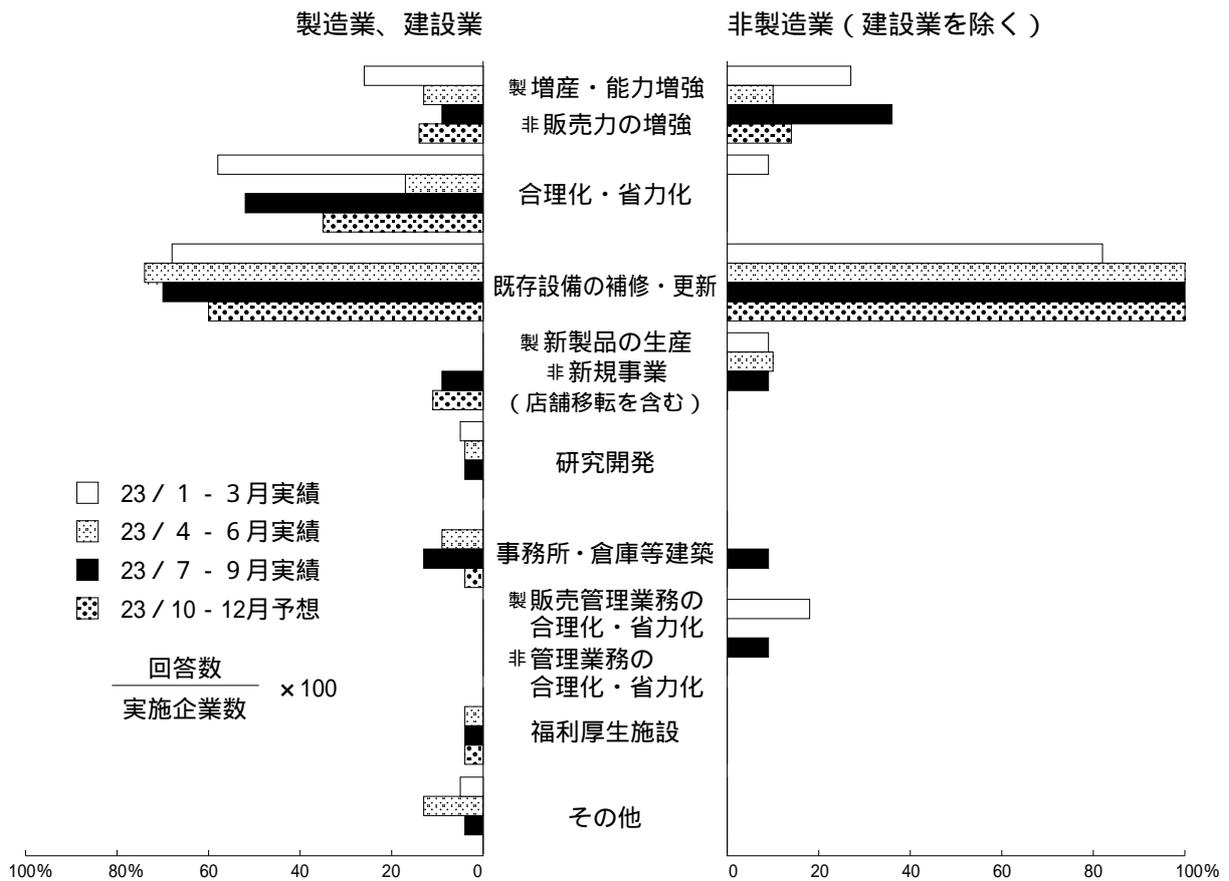


図 - 14 産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



## 11 経営上の問題点…… 製造業では「売上・受注の減少」、「先行き見通し難」が上位 非製造業では「金利負担の増加」が上位

平成23年7～9月:経営上の問題点(大きいものから2項目選択)の上位5項目(全産業)は、4～6月と同様で「売上・受注の減少」が3ポイント上昇した。製造業で1ポイント上昇し、非製造業で5ポイント上昇した。また、非製造業では「金利負担の増加」が36%で2位に入っているが、この項目が上位に

入ることは近年なかった。

平成23年10～12月:上位5項目(全産業)は7～9月と同様だが、「先行き見通し難」が3ポイント増加し、製造業で前期比10ポイント増加すると予想し、非製造業で「売上・受注の減少」が同6ポイント増加すると予想している。

(単位: %)

	問題点	23年		
		4～6月	7～9月	10～12月 予想
全産業	1 売上・受注の減少	60	63	55
	2 先行き見通し難	33	34	37
	3 過当競争	23	24	23
	4 仕入れ価格の上昇	22	23	28
	5 販売価格の低下	14	15	15
製造業	1 売上・受注の減少	64	65	47
	2 先行き見通し難	32	33	43
	3 仕入れ価格の上昇	22	22	27
	3 過当競争	22	22	20
	5 販売価格の低下	14	14	14
非製造業	1 売上・受注の減少	56	61	67
	2 金利負担の増加	3	36	27
	3 諸経費の増加	8	27	27
	4 過当競争	25	24	30
	5 先行き見通し難	33	15	15

注: 上位2項目の複数回答、回答数÷企業数(回答なしを含む)

図 - 15 経営上の問題点(上位項目)

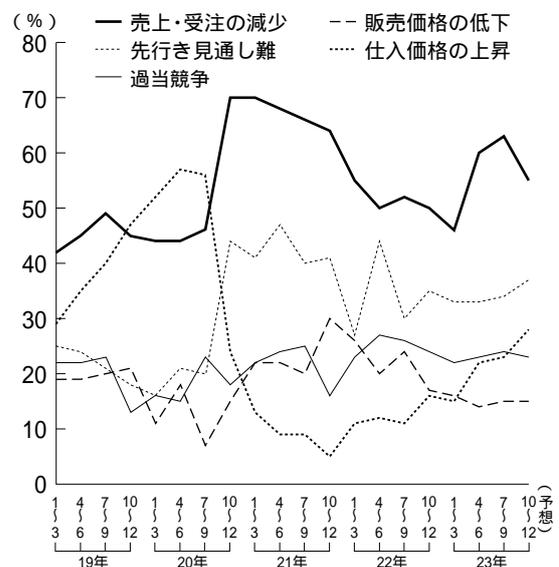


表 - 2 業種別 業況判断 B S I

業種	期 判断	23年4～6月実績				23年7～9月実績				23年10～12月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全 産 業		23	29	47	12.0	28	31	42	6.8	27	38	35	4.3
食 料 品		11	22	67	28.0	50	10	40	5.0	70	20	10	30.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品		33	0	67	17.0	0	100	0	0.0	50	50	0	25.0
紙・紙加工品		0	50	50	25.0	0	50	50	25.0	0	100	0	0.0
窯業・土石		0	40	60	30.0	20	20	60	20.0	20	80	0	10.0
金属・機械		46	38	16	15.0	80	10	10	35.0	50	50	0	25.0
電気機械		20	20	60	20.0	23	8	69	23.1	15	15	69	26.9
印刷・その他		0	0	100	50.0	0	40	60	30.0	0	20	80	40.0
製 造 業		20	28	52	16.0	35	20	45	5.1	33	39	29	2.1
建 設 業		60	0	40	10.0	25	38	38	6.3	25	38	38	6.3
卸 売 業		36	36	27	4.6	27	45	27	0.0	18	36	46	13.7
小 売 業		20	40	40	10.0	0	71	29	14.3	14	43	43	14.3
運 輸 業		0	20	80	40.0	33	33	33	0.0	0	67	33	16.7
旅館・ホテル		20	40	40	10.0	0	25	75	37.5	25	0	75	25.0
非 製 造 業		28	30	42	7.0	18	45	36	9.1	18	36	46	13.7

表 - 3 業種別 売上高 B S I

業種	期 判断	23年4～6月実績				23年7～9月実績				23年10～12月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全 産 業		31	21	48	8.7	29	31	41	6.1	30	30	40	5.0
食 料 品		75	0	25	25.0	50	33	17	16.7	50	33	17	16.7
繊維・縫製		0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品		33	33	33	0.0	0	100	0	0.0	50	50	0	25.0
紙・紙加工品		0	0	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
窯業・土石		0	25	75	37.5	25	25	50	12.5	25	75	0	12.5
金属・機械		60	40	0	30.0	75	25	0	37.5	60	40	0	30.0
電気機械		25	0	75	25.0	25	0	75	25.0	25	13	63	18.8
印刷・その他		0	0	100	50.0	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
製 造 業		33	15	52	9.3	33	26	41	3.7	36	36	29	3.6
建 設 業		50	0	50	0.0	33	33	33	0.0	17	50	33	8.3
卸 売 業		33	33	33	0.0	33	45	22	5.6	22	22	56	16.7
小 売 業		17	50	33	8.3	0	50	50	25.0	25	0	75	25.0
運 輸 業		0	0	100	50.0	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
旅館・ホテル		25	25	50	12.5	0	0	100	50.0	50	0	50	0.0
非 製 造 業		28	28	44	8.0	23	36	41	9.1	23	23	55	15.9

表 - 4 業種別 経常利益 B S I

業種	期 判断	23年4～6月実績				23年7～9月実績				23年10～12月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全 産 業		26	24	51	12.4	24	23	53	14.8	17	30	53	17.9
食 料 品		33	0	67	16.7	40	30	30	5.0	20	50	30	5.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品		0	67	33	16.7	0	50	50	25.0	50	50	0	25.0
紙・紙加工品		0	25	75	37.5	0	50	50	25.0	0	50	50	25.0
窯業・土石		0	0	100	50.0	20	0	80	30.0	20	40	40	10.0
金属・機械		54	15	31	11.5	50	40	10	20.0	40	30	30	5.0
電気機械		20	20	60	20.0	15	15	69	26.9	8	8	85	38.5
印刷・その他		0	0	100	50.0	0	20	80	40.0	20	20	60	20.0
製 造 業		24	16	60	18.0	25	27	49	12.3	20	31	49	14.3
建 設 業		40	20	40	0.0	13	13	75	31.3	0	25	75	37.5
卸 売 業		30	40	30	0.0	36	18	46	4.6	18	36	46	13.7
小 売 業		40	30	30	5.0	29	14	57	14.3	29	43	29	0.0
運 輸 業		0	40	60	30.0	0	0	100	50.0	0	0	100	50.0
旅館・ホテル		20	40	40	10.0	0	67	33	16.7	0	0	100	50.0
非 製 造 業		29	34	37	4.3	22	19	59	18.8	13	28	59	23.5

表 - 5 業種別 販売価格 B S I

業種	期 判断	23年4～6月実績				23年7～9月実績				23年10～12月予想			
		A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2	A 好転	B 不変	C 悪化	B S I A - C 2
全 産 業		15	65	20	2.4	6	69	25	9.4	8	66	27	9.5
食 料 品		11	78	11	0.0	10	80	10	0.0	11	78	11	0.0
繊維・縫製		0	100	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品		0	33	67	33.4	0	50	50	25.0	0	50	50	25.0
紙・紙加工品		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
窯業・土石		0	60	40	20.0	0	60	40	20.0	20	80	0	10.0
金属・機械		31	54	15	7.7	20	70	10	5.0	20	50	30	5.0
電気機械		0	80	20	10.0	0	46	54	26.9	0	54	46	23.1
印刷・その他		0	33	67	33.4	0	60	40	20.0	0	40	60	30.0
製 造 業		10	66	24	7.0	6	65	29	11.3	8	63	29	10.5
建 設 業		0	75	25	12.5	0	67	33	16.7	0	67	33	16.7
卸 売 業		46	45	9	18.2	18	73	9	4.6	18	73	9	4.6
小 売 業		30	60	10	10.0	0	71	29	14.3	0	57	43	21.5
運 輸 業		0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル		0	60	40	20.0	0	75	25	12.5	0	75	25	12.5
非 製 造 業		23	63	14	4.3	7	74	19	6.5	7	71	23	8.1

表 - 6 業種別 仕入価格 B S I

業種	期 判断	23年4～6月実績				23年7～9月実績				23年10～12月予想			
		A	B	C	B S I	A	B	C	B S I	A	B	C	B S I
		上昇	不変	低下	A - C 2	上昇	不変	低下	A - C 2	上昇	不変	低下	A - C 2
全産業		37	59	4	16.9	26	69	5	10.7	34	59	8	13.2
製造業	食料品	56	33	11	22.3	60	40	0	30.0	60	40	0	30.0
	繊維・縫製	100	0	0	50.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
	木材・木製品	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	紙・紙加工品	25	75	0	12.5	0	100	0	0.0	50	50	0	25.0
	窯業・土石	20	80	0	10.0	20	80	0	10.0	40	60	0	20.0
	金属・機械	46	54	0	23.1	30	70	0	15.0	40	40	20	10.0
	電気機械	10	80	10	0.0	8	85	8	0.0	15	77	8	3.9
	印刷・その他	0	100	0	0.0	40	60	0	20.0	80	10	0	40.0
非製造業		32	64	4	14.0	27	72	2	12.3	41	53	6	17.4
非製造業	建設業	50	50	0	25.0	17	83	0	8.4	0	100	0	0.0
	卸売業	55	36	9	22.7	27	64	9	9.1	27	64	9	9.1
	小売業	33	67	0	16.7	0	71	29	14.3	0	71	29	14.3
	運輸業	50	50	0	25.0	100	0	0	50.0	100	0	0	50.0
	旅館・ホテル	40	60	0	20.0	25	75	0	12.5	25	75	0	12.5
非製造業		46	52	3	21.3	26	65	10	8.1	23	68	10	6.5

表 - 7 経営上の問題点(上位項目)

(単位：%)

	問題点	19年				20年				21年				22年				23年			
																					予想
製造業	1 売上・受注の減少	29	37	37	35	39	34	43	68	70	71	61	58	56	44	48	45	42	64	65	47
	2 先行き見通し難	24	25	23	20	11	25	23	48	50	56	44	45	38	51	32	37	34	32	33	43
	3 仕入価格の上昇	35	46	50	55	66	60	68	32	17	12	12	10	11	18	11	20	19	22	22	27
	3 過当競争	16	14	17	8	7	8	13	9	11	8	25	8	20	18	18	16	15	22	22	20
	5 販売価格の低下	20	18	17	24	11	21	7	11	22	15	16	24	20	22	30	20	19	14	14	14
	6 諸経費の増加	18	18	21	20	14	26	16	4	4	5	12	10	9	16	11	12	11	12	12	12
	7 為替相場の変動	4	4	6	4	5	2	5	2	2	3	4	8	4	7	5	10	9	8	8	10
	8 人件費の増加	2	11	8	10	4	4	9	5	2	3	7	6	5	7	16	6	6	6	6	6
非製造業	1 売上・受注の減少	53	53	60	55	49	55	50	73	70	63	71	72	54	59	57	56	52	56	61	67
	8 金利負担の増加	7	7	7	6	4	6	6	2	7	2	0	0	0	0	5	0	0	3	36	27
	3 諸経費の増加	10	9	10	8	10	16	13	12	2	2	27	0	7	4	2	10	10	8	27	27
	2 過当競争	28	31	28	18	27	22	35	27	36	42	2	26	26	37	36	33	31	25	24	30
	7 先行き見通し難	26	24	18	16	22	16	17	39	30	37	36	36	13	35	26	33	31	33	15	15
	4 人件費の増加	0	7	0	4	2	2	4	2	0	6	13	4	9	11	5	5	5	11	15	15
	5 仕入価格の上昇	24	24	32	39	37	53	42	16	9	6	4	0	11	4	12	10	10	22	12	9
5 資金繰り難	14	9	10	16	16	8	15	14	16	2	11	12	7	0	7	10	10	14	9	9	

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数(回答なしを含む)

## 平成24年中の海外戦略について

今回の調査では、通常の調査に加え「平成24年の海外戦略」についてもお尋ねしています。ご回答いただきました内容について集計を以下に記載させていただきました。ご協力をいただきました皆様にお礼申し上げます。

・平成24年中(平成24年1月～12月まで)の海外進出を計画されていますか？

1. 今年は実施しなかったが、来年は実施する	1社	1.3%
2. 今年までに既に実施しているが、来年も積極的に実施したい	3社	3.8%
3. 今年までに既に実施しているが、来年は現状程度としたい	7社	8.9%
4. 今年に引き続いて来年も海外進出は考えていない	68社	86.0%

設問 1. で「1. 今年は実施しなかったが、来年は実施する」、「2. 今年までに既に実施しているが、今年までに既に実施しているが、来年も積極的に実施したい」を回答された方(平成24年中に海外進出を(積極的に)計画されている方)にお尋ねいたします。

・計画している海外進出の内容はどのようなものですか？(複数回答可)

1. 生産拠点(工場・機械設備)の新設(又は増設)	2社
2. 店舗の新設(又は売り場面積の拡大)	0社
3. 海外の取引先(又は取引量)の増加	2社
4. 海外への進出を見据えての人材派遣	1社
5. その他	1社

・計画している海外進出の資金はどのように調達されますか？(複数回答可)

1. 自己資金	5社
2. 借入金、社債の発行、増資	2社
3. その他	2社

設問 1. で「1. 今年は実施しなかったが、来年は実施する」、「2. 今年までに既に実施しているが、今年までに既に実施しているが、来年も積極的に実施したい」を回答された方(平成24年中に海外進出を(積極的に)計画されている方)にお尋ねいたします。

・海外進出を実施しないのはどのような理由からですか？(複数回答可)

1. 先行きの見通しがたたないため、不透明感があるため	13社	17.3%
2. 投資効果が期待できないため	14社	18.7%
3. 資金調達が困難なため	2社	2.7%
4. 手元資金が不足しているため	1社	1.3%
5. 海外に関する情報がないため	11社	14.7%
6. 国内の現状取引で十分なため	22社	29.3%
7. その他	12社	16.0%

## アンケートの集計結果をうけて

平成23年は年頭の大雪、3月の震災、8月の円高、9月の台風12号、10月のタイでの洪水被害と自然災害、海外との関係において大変な一年となりました。県内に拠点を置くの企業の皆様にとっても海外戦略は看過できない状況になってきたと実感された年となったのではないのでしょうか。

今回のアンケートの結果によると、今回の回答企業の中で既に海外に進出しているのは14.0%、海外進出を検討していないは86%でした。

進出を検討中の特徴としては、生産拠点の新設(又は増設)、取引先(又は取引量)の増加を見込む前向きなものであるということです。円高の悪影響を回避したいという企業心理もうかがえます。

一方、進出を検討しない理由として国内の現状取引で十分を一番として以下、投資効果が期待できない、先行きの不透明感、海外の情報不足と続きました。海外との関係が問われ、県内産業の空洞化を懸念される中でも県内に基盤を置く企業行動が現われたともいえます。

ただ、海外に関する情報がないという企業の中で、海外進出(又は海外との取引)を相談してみたいと考えておられる方へ以下の機関をお知らせします。ご興味がおありの方がいらっしゃいましたらお役立てください。

## 海外とのお取引をお考えの皆様へ

### 『ジェトロ(日本貿易振興機構)』のご紹介

名 称	独立行政法人日本貿易振興機構 = JETRO( Japan External Trade Organizaition )		
設 立	2003年10月1日		
事 務 所	東京都港区赤坂1丁目12-32アーク森ビル(総合案内6階)		
	国内	本部(東京)、大阪本部、アジア経済研究所、貿易情報センター36事務所	
	海外	55ヶ国 73事務所(2011年)	
役職員数	国内	824名、	海外 721名 合計 約1,545名(2011年4月1日)

### 『鳥取貿易情報センター』

設 立	1996年		
事 務 所	鳥取県鳥取市若葉台南7 5 1		
	TEL:0857 52 4335 FAX:0857 52 4336		
貿易相談業務実績	相談件数	2010年度	191件
		2011年度	184件
			2011年度は11月末まで
	講演会・セミナー	2010年度	7件
		2011年度	13件
			2011年度は11月末まで

### 『ジェトロのサービス』

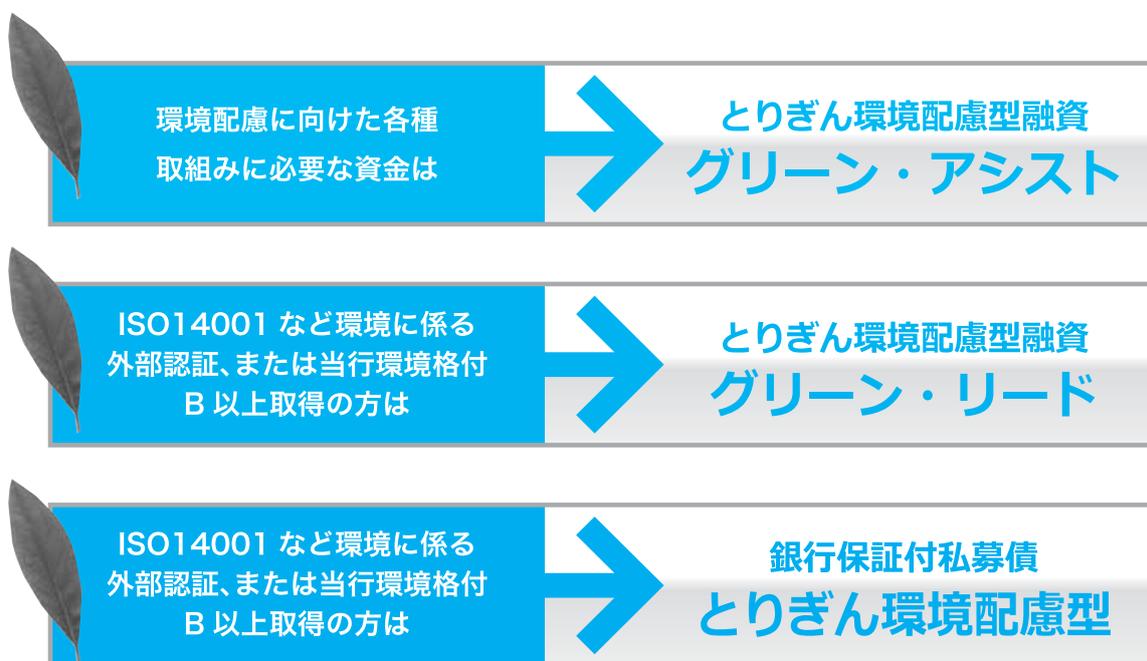
輸出有望企業の発掘	各種情報提供
海外との地域間交流の支援	ジェトロ海外情報ファイル
展示会出展サポート	海外ブリーフィング・サービス
対日投資の支援	海外ミニ調査サービス
	など

詳しくは、鳥取貿易情報センターへお問合せいただくか、鳥取銀行ふるさと振興部 地域ビジネス推進室(TEL:0857-37-0274)までお問合せください。

「環境配慮型経営」  
「環境保全に向けた取組み」を  
実践される事業者の皆さまへ

# とりぎん環境配慮型融資・私募債 ラインナップ

3つのラインナップから貴社に最適な融資商品・私募債をお選びいただけます



上記商品は、各種条件・審査等がございます。

詳しくはお近くのとりぎん窓口、または下記ビジネスプラザまでお問い合わせください。

## ビジネスプラザ鳥取

(産業会館支店)

TEL.0857-27-1431

鳥取市本町3-201 鳥取産業会館鳥取商工会議所ビル1階  
【営業時間】平日9:00～17:00

## ビジネスプラザ米子

(米子商工会議所会館出張所)

TEL.0859-31-7700

米子市加茂町2-204 米子商工会議所会館1階  
【営業時間】平日9:00～17:00

TOTTORI  
BANK



青い鳥の銀行です。

鳥取銀行

<http://www.tottoribank.co.jp>

平成23年12月22日現在

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部  
くらしと経営相談所

〒680 8686 鳥取市永楽温泉町171番地  
TEL 0857-37-0220

R100

古紙配合率100%再生紙を使用しています